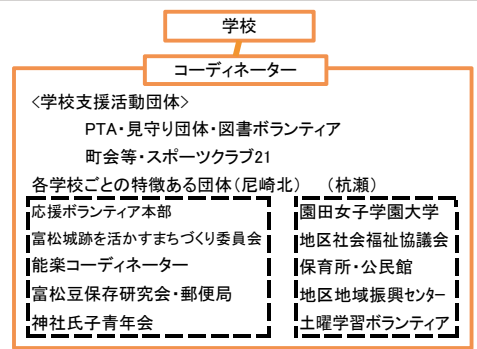


持続可能な取組をめざして

兵庫県尼崎市		● 活動名 学校支援活動コーディネーターモデル事業		● 関係する学校名 尼崎市立尼崎北小学校、尼崎市立杭瀬小学校	
開始年度	平成 28 年度	学級数	27 学級	児童・生徒数	733 人
活動内容	<input type="checkbox"/> 学習支援活動 <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 環境整備 <input checked="" type="checkbox"/> 子供の安全確保 <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事等の支援 <input type="checkbox"/> その他 ()				
統括的な地域学校協働活動推進員の数	配置人数 0 人	地域学校協働活動推進員の数	配置人数 1 人	連携団体・企業等	まちづくり委員会等
ボランティアの数	登録人数 213 人	属性	PTA、地域住民、地元企業等		
参考 URL	http://www.city.amagasaki.hyogo.jp/manabu/lifelong/1002016/104gakkoushi/en/1005550.html				
● 連絡先	尼崎市教育委員会社会教育課		☎ 06-4950-0405		
● 活動の概要・経緯	<p>地域の豊かな社会資源を活用し、子供たちが地域社会で体験的に学ぶ取組を行うとともに、学校のニーズと地域の力をマッチングして、より効果的な学校支援が行えるよう調整するコーディネーターをモデル校である2校に配置する。</p> <p>尼崎市では平成28年度からモデル的に地域学校協働本部の設置を進めており、学校を「地域の人が活躍する場」としても捉え、小学校から設置を進めている。</p>				



● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

- 尼崎北小学校（学内での活動、地域資源を活用した活動）
 - ・月3回程度25分休憩に応援ボランティア本部を中心として「遊びのコーナー」が実施されている。7月はミニ・ミニ縁日として、わなげ・けん玉、さかなつりのお店を開店し、全部を回ると手作りのストラップなどの景品がもらえる。わなげやストラップ等は全てボランティアの手作りである。加えて校内の掲示板の装飾も季節に合わせた飾り付けをしている。また、活動日の内、学期に1回程度活動団体の交流会を開催している。
 - ・地域資源を活用して、親子を対象にバードウォッチングやセミの羽化の観察会など、富松城跡を活かすまちづくり委員会が中心となって地元の神社の周辺や富松城跡の森等をめぐる機会を設け、地域愛の醸成にも寄与している。
- 杭瀬小学校（既存の事業の連携による取組の充実）
 - ・スポーツクラブ21と地域の方を中心としたプール開放、PTAや大学生などのボランティアが土曜日（月2回）に実施している図書室開放、また、地区の社会福祉協議会が実施しているサマースクールボランティア（車いす体験事業）を夏休みに同時開催している。また、プールの定員が満員になり入れない子供たちの居場所として図書室を開放し、大学生が宿題をみたり、社会福祉協議会の事業を行ったりして過ごしている。それぞれの団体の取組がより効果的に実施されている。
 - ・登下校の見守りは地元企業の協力があり、図書室開放は子供たちとのコミュニケーションを図る場でもあり、地域の方の顔が見える活動となっている。

【実施にあたっての工夫】

地域学校協働活動において人と人がつながり・連携する仕組みが、持続可能な取組となるよう、小学校ごとにコーディネーターを配置し、また、その人材は学校・公民館・社会福祉協議会等と相談して地域の中から探し出し、学校長が推薦する形で委嘱している。各学校には以前から、様々な地域の団体やボランティアが活動しており、そこへ今までのつながりを活かした、「ゆるやかなネットワーク」をつくることで、既存の事業の充実や効率化につながり、持続可能な仕組みになるよう工夫している。

● 事業を実施しての効果・成果

いずれの学校も、もともと学校支援活動が積極的に行われていたが、各々のグループが担当教員や教頭とそれぞれにつながり活動を行っていた。コーディネーターを配置することで学校との窓口が集約されるとともに、また、関係者同士の横のつながりができ、各事業の実施日程の調整等が円滑になった。さらに、既存の関係団体のそれぞれの取組に関する課題や悩みも共有することで、より効果的に連携することができ、各事業の負担の軽減につながってきている。

● その他

尼崎市には史跡が多く残る住宅街や、活気のある商店街を有するなど、学校ごとに地域環境に特性があり、地域学校協働活動に関わる人材や、取組内容も学校ごとに特徴がみられ、多様な活動が展開されている。



尼崎北小学校（25分休憩の取組）
社会教育課ブログより抜粋



杭瀬小学校（プール開放等）
社会教育課ブログより抜粋

ポイント

学校側の担当者やコーディネーターとが情報や課題を共有し、地域の組織をゆるやかにネットワーク化していることが、活動の充実や効率化、持続性につながっています。